

## 質問回答

2020年5月15日（下記14を追記）

~~2020年5月14日~~

「ザンビア国ルアングワ橋建設計画準備調査」（公示日：2020年4月22日／調達管理番号：20a00133）の企画競争説明書等に関する質問と回答は以下のとおりです。

| 通番号 | 当該頁項目   | 質問  | 回答  |
|-----|---|---|---|
| 1   | <p>企画競争説明書 p.1<br/>第1 企画競争の手続き<br/>(4) の下の枠内</p> <p>「また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、プロポーザル作成時に経費の見積が困難な項目・費目があれば、下記「6 説明書に対する質問」の質問提出期限までに、当機構にお問い合わせいただけますようお願いいたします。」</p> | <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、プロポーザル作成時に経費の見積が困難な項目・費目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地再委託費（交通量調査）</li> <li>・現地再委託費（地形測量）</li> <li>・現地再委託費（自然条件調査）</li> <li>・現地再委託費（地質調査）</li> <li>・現地再委託費<br/>（環境社会配慮関連調査／社会状況調査）</li> </ul> <p>こちらは想定して計上すればよろしいのでしょうか。</p> | <p>左記の再委託項目・費目について、見積聴取が困難な場合はそれらの想定額を別見積計上願います。調査補助員備上費も同様の扱いとします。</p> <p>※ 想定額を計上する場合はその旨を明記願います。</p> |
| 2   | <p>企画競争説明書 p.10<br/>第2 プロポーザル作成に係る留意事項<br/>(3) 業務従事予定者の経験、能力<br/>2) 評価対象業務従事者の経歴<br/>及び<br/>企画競争説明書 p.12<br/>別紙</p>   | <p>橋梁設計（上部工）の評価に関して、10頁では「語学評価せず」と記載されていますが、12頁の配点表では「語学力」の欄に4点が配点されています。橋梁設計（上部工）にかかる語学評価の有無についてご教示願います。併せて、「語学評価無し」の場合の正しい配点をご教示願います。</p> <p>【業務従事者：担当分野 橋梁設計（上部工）】</p> <p>c) 語学能力：語学評価せず</p>   | <p>「橋梁設計（上部工）」については語学評価の対象外とします。</p> <p>プロポーザル評価表を別紙1のとおり訂正します。</p>                                     |

| 通番号 | 当該頁項目   | 質問  | 回答   |
|-----|---|---|--|
|     | プロポーザル評価配点表   | <p>とありますが、P12 プロポーザル評価配点表では語学力4点満点評価となっています。どちらの指示が正でしょうか。</p> <p>橋梁設計（上部工）担当について、P10には「語学評価せず」となっているが、P12には語学力の配点4点となっている。語学評価について、どちらが正しいのでしょうか。</p> <p>企画説明書 P.10『1. プロポーザルに記載されるべき事項（3）業務従事予定者の経験、能力』にて、「橋梁設計（上部工）」は語学能力評価せず、となっていますが配点表では4点配点されています。どちらが正しいのでしょうか。</p> |  |
| 3   | <p>企画競争説明書 p.15<br/>第3 特記仕様書案<br/>5. 実施方針及び留意事項<br/>(3) 本調査の位置づけ・実施方法<br/>1) 第1回現地調査 (OD①)<br/>「想定架橋位置における2～3点のボーリング調査」</p> | <p>第1回現地調査にて「想定架橋位置における2～3点のボーリング調査」とあり、第2回現地調査でのボーリングは実施項目に入っていませんが、帰国後の国内解析結果により想定架橋位置に変更があった場合、第2回現地調査における追加ボーリング調査は契約変更として認められるのでしょうか。</p>  | <p>ご質問の「想定架橋位置における2～3点のボーリング調査」とは、想定架橋位置の候補箇所1箇所当たり2～3点の調査を意味しており、帰国後の国内解析により新たな架橋位置候補箇所が生じることは想定していません。</p> <p>但し、橋梁概略設計にて最適な径間割を設定した結果、やむを得ず追加ボーリング調査を実施する必要性が生じた場合は契約変更にて対応します。</p> |
| 4   |   | <p>左記「想定架橋位置における2～3点のボーリング調査」とは「代替案の想定架橋位置全てにおいて2～3点のボーリング調査」との理解でよいか。</p>  | <p>その通りです。</p>   |

| 通番号 | 当該頁項目  | 質問   | 回答   |
|-----|--|--|--|
| 5   | 企画競争説明書 p.16<br>第3 特記仕様書案<br>5. 実施方針及び留意事項<br>(6) 交通量調査・将来交通量推計  | <p>「マラウイ・モザンビーク国境のムワンザ・ボーダーポスト、モザンビーク・ジンバブエ国境のニャンパダ・ボーダーポスト付近で車種別交通量及び路側 OD 調査を実施することが想定されるが・・・」とありますが、これら対象国外の調査については、例えばモザンビークのコンサルタントに再委託することが手続き上も効率的であると考えられますが、この際の団員の対象国外での再委託先の選定、契約に必要な渡航費等は経費として認められるのでしょうか。</p> <p>マラウイ・モザンビーク国境、モザンビーク・ジンバブエ国境での調査に言及されていますが、ザンビア国外での現地調査は再委託費用に含まれているものと考えて良いのでしょうか。また、その管理のための渡航は、本見積に含まれますでしょうか</p> | <p>ザンビア国外での現地調査に係る再委託先選定・契約に係る経費や交通費・渡航費につきましては、プロポーザルにて合理性をご説明いただくとともに、必要経費を見積書（本見積）に計上してください。</p>  |
| 6   | 企画競争説明書 p.17<br>第3 特記仕様書案<br>5. 実施方針及び留意事項<br>(10) 維持管理体制について<br>「現在 JICA が実施中の技術協力プロジェクト「ザンビア国橋梁維持管理能力向上プロジェクトフェーズⅡ」において収集した情報も参照すること。」 | <p>左記プロジェクト「ザンビア国橋梁維持管理能力向上プロジェクトフェーズⅡ」の情報をプロポーザル作成に利用したいため、同プロジェクトの最新情報（中間報告書等）を配布して頂きたい。</p>   | <p>当該プロジェクトは中間レビュー実施対象案件ではないため、中間報告書は作成しておりません。公開情報（事前評価）を参照ください。</p> <p>また、5月18日（月）までに、調達・派遣業務部から企画競争説明書を受領された各社宛に、同プロジェクトの Monitoring Sheet（Ver.1）をメールで送付予定です。</p> |

| 通番号 | 当該頁項目  | 質問  | 回答  |
|-----|--|---|---|
| 7   | 企画競争説明書 p.18<br>第3 特記仕様書案<br>5. 実施方針及び留意事項<br>(14) 調達事情調査（現地調達、<br>第三国調達、サブコントラ<br>クターの技術レベル等） | 「加えて、近隣国にて実施した類似の無償<br>資金協力事業から得られた教訓・課題をレ<br>ビューし、本事業に反映させるものとする。」とありますが、具体的にレビューする類似案件は想定されていますでしょうか。                                 | 具体的には「ザンビア国第二次ルサカ郡<br>病院整備計画フェーズ 2」を想定していま<br>す。また、標記案件の受注者には、現地調<br>査前に実施する積算ブリーフィング等にて<br>教訓・課題等につき説明します。 |
| 8   | 企画競争説明書 p.19～20<br>第3 特記仕様書案<br>6. 業務の内容<br>(5) 運輸交通セクターに関連<br>する法令や基準、設計・施<br>工条件の確認          | 「また、ナカラ回廊上の道路や他の橋梁に<br>ついて、通行車両の重量制限の状況を確認<br>する。」とありますが、このナカラ回廊上<br>とはナカラ港（モザンビーク）からルサカ<br>（ザンビア）全線を意味しているのでしょ<br>うか。                  | その通りです。   |
| 9   | 企画競争説明書 p.21<br>第3 特記仕様書案<br>6. 業務の内容<br>(8) サイト状況調査<br>2) 自然条件調査<br>③ 地質調査                    | 「架橋位置の候補1か所につき2～3点を想定<br>する。」とあるため、ボーリング箇所数とし<br>ては、「2～3点×提案架橋位置数」と読めま<br>すが、指示書 P15 では2～3点のボーリング<br>数しか想定されておりません。どちらの指<br>示内容が正でしょうか。 | 回答3及び4を参照願います。  |
| 10  | 企画競争説明書 p.29<br>第3 特記仕様書案<br>7. 成果品等   | 製本版成果品は（8）準備調査報告書<br>和文8部、英文16部ですが、CD-Rにつ<br>いては（8）先行公開版、（6）概要資料<br>（案）、（9）デジタル写真集を含む計7<br>枚の見積計上が可能でしょうか                               | その通りです。   |
| 11  | 企画競争説明書 p.31<br>第4 業務実施上の条件<br>3. 参考資料<br>(1) 公開資料<br>・ザンビア国ナカラ回廊上                             | 2019年調査で地形測量が実施されてい<br>るが、参考資料としてCADデータを配布<br>できないか。<br>現時点で配布不可であっても、受注した<br>会社には提供されるのか？（測量の見積<br>に影                                  | 標記案件の契約後、受注者にCADデー<br>タを提供します。  |

| 通番号 | 当該頁項目   | 質問  | 回答  |
|-----|---|---|---|
|     | <p>の運輸インフラ整備に向けた情報収集・確認調査報告書（2019年）</p>   | <p>響する）<br/>左記報告書の40ページと42ページに表示されている地形測量のCADデータをプロポーザル作成に利用したいため、配布して頂きたい。</p>   |   |
| 12  | <p>企画競争説明書 p.35<br/>別紙1<br/>ザンビア国ルアングワ橋建設計画準備調査にかかる自然条件調査仕様書（案）<br/>2. 調査項目<br/>（2）地形測量</p> | <p>「地形測量に当たっては、UAV等による写真測量も可とする。」とありますが、「ザンビア国ナカラ回廊上の運輸インフラ整備に向けた情報収集・確認調査」にて既にUAVによる調査が実施されております。調査の効率化、経費の低減の観点から、この既往調査にて実施されたUAVによる測量成果を共有いただけないでしょうか。</p>  | <p>回答11を参照願います。</p>   |
| 13  | <p>—</p>  | <p>業務スペースに関する記載が無いと思われませんが、RDAから作業スペース、必要な通信設備（ネット環境）が提供されるということによいでしょうか。<br/>現地業務に必要な作業スペースについては、実施機関であるRDAから供与していただけるのでしょうか。もしくは調査団として借上げて対応すべきでしょうか。また、借り上げる場合の費用は本見積／別見積のどちらに計上すべきかご教示願います。<br/>先方政府より執務室の供与はありますでしょうか。ない場合、事務所費用は本見積・別見積どちらで計上すべきでしょうか</p> | <p>先方政府・RDAの保有する執務に適したスペースは限られており、本案件への供与が難しいことから、標記案件の受注者による借上げにて対応することとします。<br/>執務室借上に必要な経費を、見積書（別見積）に計上してください。<br/>企画競争説明書の該当箇所を別紙2の通り修正します。</p> |

| 通番号 | 当該頁項目   | 質問                                       | 回答   |
|-----|---|--|--|
| 14  | <p>企画競争説明書 p.30<br/>第4 業務実施上の条件<br/>1. 業務工程計画（案）<br/>「・・・2020年7月下旬より<br/>第1回現地調査を実施する。」</p> <p>及び</p> <p>企画競争説明書 p.10<br/>第2 プロポーザル作成に係る<br/>留意事項<br/>1 プロポーザルに記載される<br/>べき事項<br/>（2）業務の実施方針等<br/>1）業務実施の基本方針<br/>「※1）と2）を併せた記載<br/>分量は、20ページ以下と<br/>してください。」</p> | <p style="text-align: center;">—————</p> | <p>プロポーザル及び見積書は、企画競争説明書に記載のとおり現地調査時期を想定して作成ください。</p> <p>一方で、本件の公示以降の状況判断として、JICAでは2020年9月末までは現地との人の往来は難しいということも現時点では想定しており、その旨を今週より複数回開催中の「新型コロナウイルス蔓延を受けた実施中案件の取扱いにかかる説明会」にてご説明しているところですので、現地渡航が2020年10月以降になった場合に、現地渡航前に実施可能な国内業務についても提案があれば記載ください。</p> <p>なお、こちらの提案につきましては、左記の制限ページ数外とします。</p> |

以上

**プロポーザル評価配点表 (赤文字部分を訂正)**

| 評価項目                                     | 配点                 |              |
|--|--------------------|--------------|
| <b>1. コンサルタント等の法人としての経験・能力</b>           | (10)               |              |
| (1) 類似業務の経験                              | 6                  |              |
| (2) 業務実施上のバックアップ体制等                      | 4                  |              |
| <b>2. 業務の実施方針等</b>                       | (30)               |              |
| (1) 業務実施の基本方針的的確性                        | 10                 |              |
| (2) 業務実施の方法の具体性、現実性等                     | 12                 |              |
| (3) 要員計画等の妥当性                            | 3                  |              |
| (4) その他(実施設計・施工監理体制)                     | 5                  |              |
| <b>3. 業務従事予定者の経験・能力</b>                  | (60)               |              |
| <b>(1) 業務主任者の経験・能力/業務管理グループの評価</b>       | (40)               |              |
|  | 業務主任者<br>のみ        | 業務管理<br>グループ |
| ① 業務主任者の経験・能力: <u>業務主任者/橋梁計画</u>         | (40)               | (16)         |
| ア) 類似業務の経験                               | 16                 | 7            |
| イ) 対象国又は同類似地域での業務経験                      | 4                  | 2            |
| ウ) 語学力                                   | 6                  | 2            |
| エ) 業務主任者等としての経験                          | 8                  | 3            |
| オ) その他学位、資格等                             | 6                  | 2            |
| ② 副業務主任者の経験・能力: <u>副業務主任者/〇〇〇〇〇</u>      | <del>40</del>      | (16)         |
| ア) 類似業務の経験                               | <del>16</del>      | 7            |
| イ) 対象国又は同類似地域での業務経験                      | <del>4</del>       | 2            |
| ウ) 語学力                                   | <del>6</del>       | 2            |
| エ) 業務主任者等としての経験                          | <del>8</del>       | 3            |
| オ) その他学位、資格等                             | <del>6</del>       | 2            |
| ③ 業務管理体制、プレゼンテーション                       | (—)                | (8)          |
| ア) 業務主任者等によるプレゼンテーション                    | —                  | —            |
| イ) 業務管理体制                                | <del>40</del>      | 8            |
| <b>(2) 業務従事者の経験・能力: <u>橋梁設計(上部工)</u></b> | (20)               |              |
| ア) 類似業務の経験                               | <del>10</del> → 14 |              |
| イ) 対象国又は同類似地域での業務経験                      | 2                  |              |
| ウ) 語学力                                   | <del>4</del> → 0   |              |
| エ) その他学位、資格等                             | 4                  |              |
| <b>(3) 業務従事者の経験・能力:</b>                  | (—)                |              |
| ア) 類似業務の経験                               | <del>40</del>      |              |
| イ) 対象国又は同類似地域での業務経験                      | <del>4</del>       |              |
| ウ) 語学力                                   | <del>6</del>       |              |
| エ) その他学位、資格等                             | <del>4</del>       |              |

## 企画競争説明書

### 第 1 企画競争の手続き

#### 7 プロポーザル等の提出

##### (6) 見積書 の修正箇所 (赤文字部分を追加)

#### (6) 見積書

本件業務を実施するのに必要な経費の見積書（内訳書を含む。）の作成に当たっては、新たに公開された「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」（2020 年 4 月）を参照してください。

（URL: <https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）

1) 「3 競争に付する事項」において、契約全体が複数の契約期間に分割されることが想定されている場合は、各期間分及び全体分の見積りをそれぞれに作成して下さい。

2) 以下の費目については、別見積としてください。

- a) 旅費（航空賃）
- b) ~~旅費（その他：戦争特約保険料）~~
- c) 一般業務費のうち安全対策経費に分類されるもの
- d) 直接経費のうち障害のある業務従事者に係る経費に分類されるもの
- e) その他（以下に記載の経費）

・ 以下の項目にかかる再委託費

（費目：再委託費－現地再委託費または国内再委託費）

- ① 交通量調査
- ② 地形測量
- ③ 自然条件調査（気象調査及び水理・水文調査）
- ④ 地質調査
- ⑤ 環境社会配慮関連調査／社会状況調査

・ 以下の項目にかかる調査補助員傭上費（費目：一般業務費－特殊傭人費）

- ① 交通調査の実施または補助、データ整理、分析
- ② 自然条件調査に係る資料収集等
- ③ 環境社会配慮関連調査/社会状況調査にかかる現地調査、ステークホルダ  
－協議の開催支援、資料収集等

・ 衛星画像、地図情報等の購入費

（費目：一般業務費－雑費

ただし内容と金額によっては、契約時に別費目とする可能性あり。）

・ 執務室借上に必要な経費

（費目：一般業務費－事務所関連費）